



特定非営利活動法人 双葉ふれあいクラブ

双葉町

〒979-1471 双葉郡双葉町大字長塚字鬼木41-1

特定非営利活動法人双葉ふれあいクラブ クラブハウス

TEL0240-23-0120 FAX0240-23-0121

E-mail fureai@bb.futaba.ne.jp

教育環境 幼稚園1園 小学校2校 中学校1校 県立高校1校

会員数 718名(平成19年10月1日現在)

小学生以下195名 中学生116名 高校生22名

成人337名 高齢者48名

入会金 なし

年会費

| | | 町内在住者 | 町外在住者 |
|-------------------|-------------------|--------|---------|
| 正会員 | | 7,000円 | |
| 活動会員 | 大人 | 5,000円 | 6,000円 |
| | 子ども | 4,000円 | 4,800円 |
| | 大人下半期会員(10月以降入会) | 3,000円 | 3,600円 |
| | 子ども下半期会員(10月以降入会) | 2,500円 | 3,000円 |
| 賛助会員(個人・団体とも一口以上) | | 1口 | 10,000円 |

- 活動種目**
- サークル活動(21) 卓球、バスケットボール、バドミントン、軽登山、いきいき体操、トレッキング、ダブルタッチ、エアロピクス、バレー教室(9人制)、ソフトボール、健康体操、ソフトバレー、ウェイトトレーニング、ボウリング、サッカー・フットサル、ニュースポーツ・バドミントン、ソフトテニス、テニス、バレーボール(6人制)
 - スクール活動(9) 剣道、柔道、卓球、体操、ジュニアバレー、サッカー、野球(軟式)、ソフトテニス、リトルリーグ野球(硬式)
 - イベント活動(13) 双葉ふれあいクラブ杯(リトルリーグ)、入会式及びスポ少入団式、米作り体験学習、理事長杯バレーボール大会、ボウリング大会(年2回)、春季家庭婦人バレーボール大会、清掃ボランティア(年2回)、梅檀杯6人制女子バレーボール大会、秋季家庭婦人バレーボール大会、スポーツフェスティバル、軽登山サークル親睦登山、バドミントン大会、スポ少卒団式
 - 委託事業(クラブ主催)(6) 家庭婦人バレーボール大会、わんぱく相撲、ナイターソフトボール大会、町民卓球大会、スキー教室、インディアカ・グラウンドゴルフ大会
 - 委託事業(クラブ主催)(2) 町民山登り運動、双葉海岸初日の出参拝

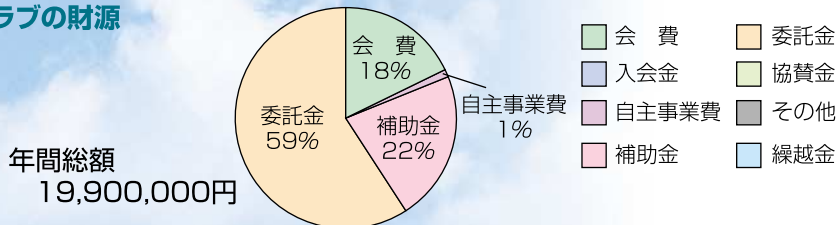
- 活動場所**
- 双葉中学校体育館・武道館・グラウンド 双葉北小学校体育館
 - 双葉南小学校体育館 双葉町公民館・体育館 ヘルスケアーふたば
 - 総合公園野球場 多目的グラウンド テニスコート
 - 町民グラウンド ナミエボウル

クラブハウス 旧双葉町商工会議所

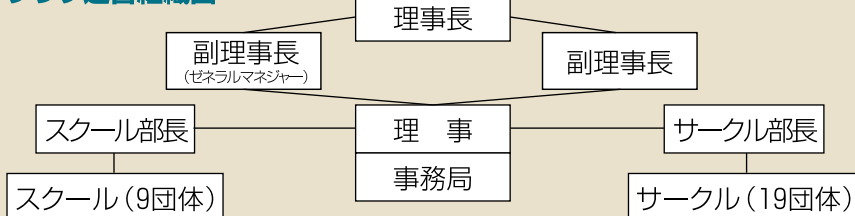
- ・スポーツ用品店と提携し、会員割引料金を設定
- ・民間ボウリング場と提携し、会員に限りゲーム無料券配布
- ・会員登録することにより、単一種目ではなく、クラブで実施する全種目に参加できる。
- ・毎月1回広報紙を配布

会員特典

クラブの財源



クラブ運営組織図



ここ数年、当クラブの会員数は設立当初の目標である、町民の10%という会員数を推移しております。これから先、会員数を飛躍的に伸ばす事は現実的には難しいと思っておりますので、現在の会員数を維持していく努力が必要だと考えております。当クラブも8年目を迎え、実施しているイベント等もマンネリ化しつつあるので、会員に対して常に魅力的で新しいものを提供できるクラブでありたいと思っております。

一人でも多くの会員が、ふれあいクラブに入って良かった。また来年も継続しよう。とっていただけるようなクラブ作りをしていきたいと思っております。

また、現在中学校の部活動に外部指導としてクラブ指導員を派遣しています。今後もさらに小中一貫指導に力を入れ、学校と地域との関わりを深めていきたいと思っております。



クラブ設立のきっかけ

平成12年4月23日設立

平成11年度に、町が(財)福島県スポーツ振興基金助成事業「複合型地域スポーツクラブ」を受託することにより、設立準備委員会を設立。

同年10月に文部科学省で取り組んでいる「総合型地域スポーツクラブ」に切り替え、学校完全週五日制に対するの取り組みとして、また部活動の減少とスポーツになじめない子ども達の受け皿として、もともと双葉町の各スポーツ少年団の保護者会(母集団)がしっかりしていて、独自の運営活動をしていたため、スポーツ少年団を核として設立した。

クラブを設立してよかった点

今まで、あまりスポーツをする機会がなかった方たちが、クラブに入会することにより、スポーツをする機会ができ、今まで定期的にスポーツをしていた方においては、違う種目のスポーツに参加し、様々な年代の方々が老若男女を問わず、交流できる場が増えました。

また、スポーツが苦手な子どもはサークルに参加し、競技型志向ではなく、楽しみながらスポーツに親しむ事ができています。

クラブの課題

- ・イベント等のマンネリ化を解消
- ・財源の確保